



くまニュースVol.6 大学沼親子の授乳



今週も“緑沼”までのコース規制となっております。
 その理由は…このヒグマ親子。
 大学沼付近を拠点にし始めて、はや一か月。
 すくすくと大きく成長した子供達、もうすぐ親離れするのかな？
 と思っていたら…まだまだ甘えん坊な様子。
 この日は久しぶりに“高原ピーク”まで様子を見に行きました。
 やはり、いました!! はじめはいつもの様に草を食べていたのですが、
 しばらくすると、母グマが仰向けになり授乳を始めました。
 初めて見た光景で少し驚きました。
 センター員との距離は200~300mと離れていて、穏やかな天気ということもあり
 リラックスしていたのでしょうか。
 貴重な光景を見せてもらいとても感動しました。
 今年の秋? 来年の春? 親離れをする事を想像すると、なんだか切なくなるセンター員
 なのです…。



高原温泉にも夏が来た…ヒグマだって暑いのです。

比較的涼しいヒグマ情報センターですが、沼巡り登山コースにもとても短いものの夏は来ます。高気圧に覆われて貴重な晴れ間が広がると、巡視員も道中の沢で顔や頭を冷やします!! きっと体中モフモフのヒグマ達はもっと暑いのでしょうか。沼で泳いだり、僅かに残る雪渓で体を冷やしたりしています。



くまニュースVol.7 センサーカメラは見た!!



ヒグマ達も登山道を歩きます。



稀にセンサーカメラへの大接近も!

沼巡り登山コース内にはヒグマ達の行動を捉える為にセンサーカメラが複数設置してあります。設置場所は食痕等が多く見られたり、個体の目撃が多い箇所などを選んで設置。定期的にメディアを交換し場所も変えながらヒグマ達の行動を観察しています。
 交換したメディアを確認しても実は映っているのは風に揺れる枝葉やエゾシカが殆ど…ヒグマ達が映る事は非常に少ないのです…
 ただ、「もういいよ…」って思う程映るエゾシカの映像の中にヒグマが映っているものを見つけるとセンター内では歓声が! 笑

センサーカメラを通じて思うのは、やはり人間と同じように登山道を普通に歩いたりする一方で、人が利用する場所ではしっかりと時間帯を選んで採餌をしているなぁということ。
 ヒグマ達は自分たちの森に入ってくる人間という存在をしっかりと認識していて、やはりヒグマ達も不要な遭遇は避けたいと思っているんだということを実感します。

カメラをどこに設置するかも大事なのです!



人がいない時間帯にあまり警戒せず、時にセンサーカメラに興味を示しながら近づいてくる、そんなヒグマ達の日常の一端を目にするとセンター員も思わず笑顔に。

沼巡り登山コースや高根ヶ原はこれから秋にかけてヒグマ達の餌場が変わる端境期。目に見えて確認できる個体数も減ってきました。それでも引き続き設置するセンサーカメラに次回はどんな映像が映るか楽しみにしながら秋の巡視を続けていきたいと思えます。



高原温泉沼めぐり 登山コースの様子



大学沼周辺の
草地にはいつ
もエゾシカが
います

夏の高原沼
と緑岳

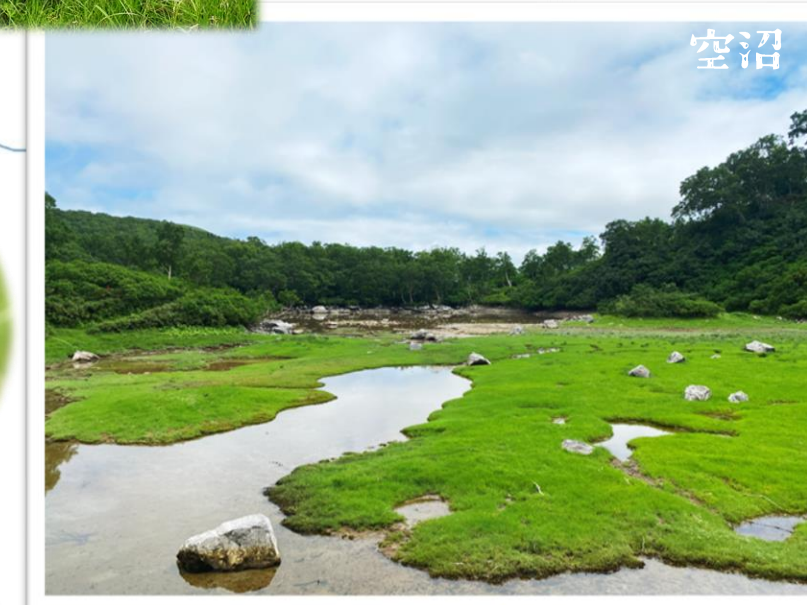


高原沼

水中にあった空沼の看
板もすっかり地上に出
てきました



鴨沼周辺の
鴨の足跡も



空沼

ヤンベ分岐の前後
にはクマの痕跡が
あちこちに...



高原温泉
ヒグマ情報センター

緑沼往復の日が続いていましたが、
8/16からは大学沼までコース開
放となりました。ヒグマの出没状
況や登山道の状態によっては閉鎖
となることもあります。
SNS等で最新の状況をご確認く
ださい。

キノコがどんどん生
えてきました！
お盆を過ぎて秋の気
配が感じられます



大雪山国立公園高原温泉
沼巡り登山コース

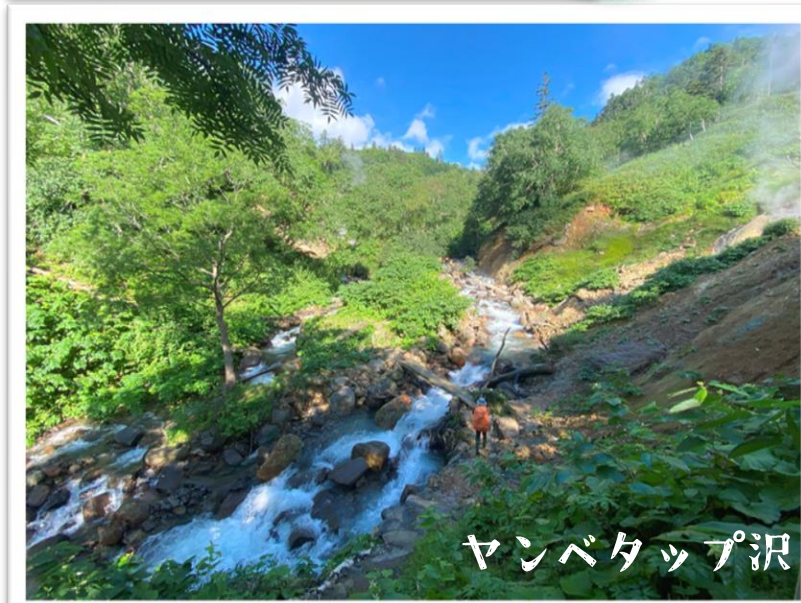
第6号 (8月19日)
発行：ヒグマ情報センター



緑沼



ツルリンドウ



ヤンベタップ沢